



- 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わりうる方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます。

(客室の使用時間)

第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、16時から翌朝10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き終日使用することができます。

- 当ホテルは、前項の規定に関わらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には、次に掲げる追加料金を申し受けます。
  - 超過3時間までは、室料金の2分の1。
  - 超過3時間以上は、室料金の全額。

(利用規則の遵守)

第10条 宿泊客は、当ホテルの敷地内においては、当ホテルが定めて掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

第11条 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、各室内のサービスディレクター等でご案内いたします。

- フロント、キャッシャー等のサービス時間  
A、門限 22時  
B、フロントサービス 7時～21時30分  
C、エクステンジサービス 7時～21時30分
- レストラン営業時間 7時～21時  
A、オーダーストップ 20時15分
- その他付帯サービス施設営業時間  
A、浴場 6時～9時、16時～23時  
B、ランドリー 7時～21時30分  
C、売店 7時～21時30分

- 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、最適と思われる方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。

- 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求したとき、フロントにおいて行っていたいただきます。

- 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

第13条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行にあたり、またはそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないとき、この限りではありません。

- 当ホテルは、消防機関から適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第14条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による宿泊施設を斡旋するものとします。

- 当ホテルは、前項の規定に関わらず、他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償金に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価格の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは5万円を限度としてその損害を賠償します。

- 宿泊客が当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお届けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により、滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめその種類及び価格の明告がなかったものについては、当ホテルは2万円を限度としてその損害を賠償します。

(宿泊客の手荷物又は、携帯品の保管)

第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任を持って保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡しします。

- 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場所において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡するとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は、所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。

- 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

第17条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託に関わらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理にあたり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときには、その賠償の責任に応じます。

(宿泊客の責任)

第18条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

## 利用規約

ホテル星羅四万十では、お客様に安全かつ快適にご利用頂くため、宿泊約款10条に基づき、次の通り利用規則を定めております。この規則をお守り頂けないときは、やむを得ずご宿泊並びに当ホテル内諸施設のご利用をお断り申し上げ、かつ当ホテルが被った損害のご負担を頂くこともございますので、特にご留意して頂き、健全な施設の運営にご協力くださいますようお願い申し上げます。

I. 客室ご利用について

- 客室よりの避難経路図をよくご確認ください。
- ご在室中や特にご就寝の際は、必ず内鍵をおかけください。
- 客室内は全て禁煙です。喫煙は絶対になさらないでください。喫煙が判明した際は、客室売り止め費用を請求させていただきます。
- 客室内では、暖房用、炊事用などの火器及びアイロンなどをご使用なさらないでください。
- 当ホテルの許可なく客室を営業行為(展示会、その他)等ご宿泊以外の目的にご使用なさらないでください。
- 当ホテルの許可なく客室内の備品を移動したり、また客室内に造作を施しあるいは改造する等現状を著しく変更なさらないでください。
- 夜間のご訪問客とのご面会はロビーでお願いします。
- 当ホテル周辺は、鳥獣保護区であり動物による公害には充分注意し、客室の窓などは必要時以外は必ず閉めてロックするようにしてください。

II. お部屋の鍵について

- ご滞在中のお部屋からお出かけの際は、客室の鍵を必ずお持ちになり、施錠をご確認ください。
- 当ホテル内のレストラン等をご署名によってご利用なさる場合は、お部屋の鍵、又はお部屋がわかるものをご提示ください。

III. お支払い等について

- お会計は、ご出発の際にフロント会計でお願い致します。なお、ご滞在中でも都合により会計をお願いする場合がありますので、その都度お支払いください。
- ご到着時にお預かり金を申し受ける場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- お買い物代、切符代、タクシー代、郵便切手代、荷物送料等のお立替えはお断わりさせていただきます。
- 客室内のお電話をご利用の際は、フロントへ申込みをしていただきますのでご了承ください。
- 法定の税金の他、サービス料としてお勘定の10%を加算させていただいておりますので、お心付け等は、ご辞退申し上げます。

IV. 貴重品、お預かり品について

- ご滞在中の現金、有価証券、その他の貴重品の保管については、フロント会計に備付けの貸し金庫(無料)をご利用ください。ご利用なさらないで万一紛失、盗難等が発生した場合には、当ホテルではその責任を負いかねる場合がございます。なお、美術品、骨董品等の品物はお預かりいたしかねます。
- 当ホテル内での遺失物の処理は一定期間当ホテルが保管し、その後は遺失物法に基づいてお取扱させていただきます。
- クロークでのお預かりものは、所定の期間を経過しても連絡がない場合は、次の期間を限度とし、お引き取りの意志がないものとして処理させていただきます。クロークにてのお預かり物 1ヶ月

V. ホテル内では他のお客様の迷惑になる下記の物の持ち込み、又は行為はご遠慮ください。

- 動物、鳥類等のペット類。
- 火薬、揮発油、その他の発火性又は引火性のある物。
- 悪臭を発する物。
- 法により所持を禁じられている鉄砲、刀剣、覚醒剤の類。
- ホテル外から飲食物等を持ち込むこと。
- 賭博や風紀を乱すような行為、又は、他のお客様の迷惑となるような言動。
- 広告、宣伝物の配布、物品の販売や勧誘等。
- 当ホテルの許可無くホテル内で写真撮影することや撮影した写真を営業上の目的で使用すること。
- 客室外での他のお客様に不快感を与える服装等。

VI. その他の注意事項

ホテル周辺、河川一帯は、鳥獣保護区、自然保護林となっておりますのでこれらを傷つけたり、危害を加えるような行為はお慎みください。